



「教団と新しい関係に入る」と近藤学長

第 38 総会期

第 1 回常議員会

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

信仰の一致による「聖なる公同の教会」の建設

近藤勝彦・東神大学長陪席

昨秋の第38回教団総会を経て今総会期第1回常議員会が年末の迫る中で開催された。総会から付託された「洗礼・聖餐の一体性、秩序確認」、「原発関連議案」等、重要議案が早速審議された。また総会における「東神大関係回復」可決を受け、40年以上に亘り願えなかった東神大学長陪席を今回得たことは新しい教団史の始まりを記す会議であった、と言える。

第38総会期第1回常議員会は、12月27日から2日間、教団会議室で30人全員が出席して開催された。
石橋秀雄議長による開会礼拝の後、陪席者の点呼に入り、要請陪席者として、沖縄教区を除く16教区の議長・議長代理が出席したほか、第38回教団総会の東神大との関係回復決議を受けて、近藤勝彦・東神大学長が陪席した。
近藤学長は「38回総会決議、石橋秀雄議長の謝罪声明を、東神大は重く受け止めている。本日陪席したのは、私個人でなく、東神大

としての決断だ。十字架の贖いを伝えるという主の委託に応え、東神大は、教団との新しい関係に入り、日本全体、海外にまで派遣する教職を育てて行きたい」と挨拶し、大きな拍手を受けた。
議事に入る前に、先例に

に従い、今総会期の議事運営の懇談が行われたが、石橋議長は、「伝道する教団の建設」とは、『主の御体なる聖なる公同の教会』であり、従来、合同が強調されて、公同教会が忘れ去られ、教団の弱体化が起きて来た。『聖なる公同の教会』としての伝道の推進を訴え続けて行くが、それには、信仰の一致が大前提で、未受洗者配餐はあり得ない。信仰の一致からなる伝道協力こそ課題だ。
東神大との関係回復は、やっとスタートラインに立ったところであり、キリス

ト教学学校教育同盟とも対話を続けており、今後、課題を共有しながら、キリスト教主義学校との協力を強めて行きたい。沖縄教区とは、何とか対話が出来ないかと願っている。青年伝道も重要課題だ」と語った。
議事運営上の発言という先例を破って、抱負、所信表明に踏み込んだ発言に、「常議員会も正常な運営が出来るようにしたので、懇談を止めて、議長報告と

した方が良いでしょう」という意見の出るほど、熱のこもった議長発言となった。
総幹事報告で、新任の長崎哲夫総幹事は、「東日本大震災募金は、国内4億4、642万円、海外2億3、377万円（12月17日現在）に達した。阪神大震災2次募金の残金は、兵庫教区と連絡を取り処理する。
沖縄教区への教区活動連帯金と沖縄宣教連帯金は、従来、沖縄教区負担金と相殺して差額を送金していたが、今後は相殺をせず、両連帯金を送付する。12月7日付で沖縄教区に負担金の納入をお願いした。
北村裁判は、12月3日、

第2回口頭弁論が行われたが、教団は、本案前の抗弁として本訴提起は法律上の争訟に当たらないと主張しており、裁判所の判断が2月25日に言い渡される」と報告した。
常任常議員として、3役推薦の岡本知之、高橋潤、長山信夫、藤掛順一、岡田義信、鈴木功男、望月克仁の7議員を承認。常任常議員は3役と合わせ10人で構成される。
幹事任用の件では、計良祐時幹事を再任（任期17年3月）、道家紀一、大三島義孝、加藤誠・囑託幹事を再任（任期14年3月）した。（永井清陽報）

「洗礼と聖餐の一体性と秩序」を可決

1日目夕食休憩前のセッション後半にて『信仰告白』と「教憲・教規」における洗礼と聖餐の「一体性と秩序」とを確認する件」が上程された。教団総会より付託された議案である。冒頭、陪席の教区議長より「常議員会が総会に提出した議案の付託を受ける」といつのは茶番ではないか。広く全教団的意見を求めて丁寧に取り扱うべき」との意見が出されたが、これに対して常議員からは「すでに信仰職制委員会の答申で明白になっている事柄を確認する議案である。広く意見を求めるものではない。ここで決議が必要」との意見が続く一方、教区議長からは「教区内の現状から、

ここで確認をすれば教団について行けなくなる教会が多くなる」との危惧を持つ。決議には慎重であつて欲しい」との訴えもあった。信徒常議員からは「教団において必要なのは一致。未受洗者配餐への配慮などが必要なのではない。信徒から誤った実践を求められたらそれを正すのが教師の責任」「教規違反ではないという主張に振り回されてきた。もうここで明白にするべきだ」との意見が続いた。決議の取り扱いをめぐる議論の取り扱いは、信託では「教憲、教規、信仰告白の解釈という総会の権限事項を付託を受けて審議している。ここで確定した解釈は、総会の3分の2以上で覆すしなくなる。故に

総会で決議されてこそ意味がある」との考え方も考慮する必要がある」とこの確認決議の重きを何となくして受け止めてほしいという願いが継続しない。ならばここで決議すべきだ。準則8条には明記されており、各個教会は拘束されている。教団の姿勢如何の問題ではなく、各個教会の自立的な課題であることの自覚を促す必要がある。決議を確かならしめる議案を次回総会に出せば良い」などの意見が続いた。

石橋秀雄議長は陪席の教区議長一人一人に意見を求めたが、賛否と共に「教区では聖餐についての意見も丁寧積み上げてきたが、戒規問題も含めて教団政治の状況の中で、公に議論できる場が保証されなくなっ

原発関連2議案継続

夕食前の最後の議案として「教規施行細則変更に関する件」が上程された。これは、第38回教団総会に33号議案として用意されていた議案であるが、議場で常議員会付託となった故にこの常議員会に上程された議案である。
この議案は、教規154条で謳われる負担金賦課の根拠のあいまいさを明確に

しようとする議案である。教規154条では負担金賦課の根拠について経常支出が挙げられ、その次に、その他適当な方法と記されている。この適当な方法という内容を、現在すでに各教区においてなされているように、経常収入、現任陪席会員数、礼拝出席者数のいずれかの項目、あるいは、複数の項目という形に明確

にしようとするものである。議場から、収支差額を基準としないところがある、という確認の意見が出され、賛成多数でこの議案は可決された。
1日目のセッションの最後に「上関原発建設計画の白紙撤回と既存原発の即時廃止を日本政府に求める件」と、「日本基督教団として脱原発への働きに参与す



全会一致で「洗礼と聖餐の一体性」を確認

て、本来ならば、教団総会から常議員会へ付託となる議案は、総会の議場に上程された議案でなければならぬが、両議案は総会の多少の混乱の中で上程されたことが指摘された。議長団もそのことを認め、上程はされなかったがしかし、常議員会へ付託するということから、問題を感じつつも教団総会の議場の承認を重んじ、今常議員会に上程したいと表明した。また議事運営に関し、こ

れまで積み重ねてきた審議未了廃案等の方法を踏襲する形で議事を進めることを重ねて表明し、常議員会はこれを受ける形で審議した。
議長は両議案に対し継続審議としたいことを訴え、議場はそれを承認した。その他、2013年春季教師検定試験合格者承認に関する件、「2012年度キリスト教教育主事認定試験合格者承認に関する件」が三役一任となった。（小林信人報）

12年11月26日逝去、86歳。
東京都に生まれる。'52年東京神学大学大学院を修了。同年高輪教会に赴任、行人坂教会、衣笠病院を経て、02年まで佐賀キリスト教事業団に勤め、城西教会、南久が原教会を代務し、07年隠退。遺族は息・木村良己さん。

12年11月13日逝去、83歳。滋賀県に生まれる。'59本聖書神学校を卒業。同

片岡健吉氏（隠退教師）

《監事》計良祐時（幹事）、○
高橋豊（白鷺）

12年11月13日逝去、83歳。
滋賀県に生まれる。'59年日
本聖書神学校を卒業。同年

主の召しに応えて

伝道のともしび

地域の声に聴く伝道

周船寺教会牧師 駒木 亮

また地元の大学が学部移転を進めている新キャンパスが周船寺の北にあります。この地域は大学のキャンパス移転に伴って都市開発が進んでいる場所でもあり、人口流入の多い地域の一つです。



上：教会を背景に家族写真
下：2012 年 12 月 23 日礼拝後、毎年恒例のクリスマス集合写真

周船寺教会は設立当初（1946 年）から「地域に仕える」教会を目指してきました。周船寺教会は草創期に付属の周船寺幼稚園を設立しました。これは周船寺教会を設立した初代牧師の当初の伝道方針とは異なっていたようです。しかし教会が「地域の声を聴く」という姿勢のもとで、初代牧師は自身の方針を翻意され、幼稚園が伝道の業として設立されました。

現在幼稚園は、一つの学校法人で二つの幼稚園（周船寺幼稚園・周船寺第二幼稚園）を有するに至っています。これは周船寺地域の都市化・人口増による園児数の増加の結果であり、さらに周船寺第二幼稚園では現在、既存の園舎に加えて新園舎を隣接地に建築中です。今日に至る幼稚園の歴史もまた、地域の人々の声を聴いてきた結果です。

周船寺教会の伝道の業とは何かを考える中で、二つの幼稚園との関わり方について、現在私は宗教主事という立場で、一人の牧師として両園に関わらせていただいています。

周船寺教会にとって幼稚園は重要な伝道の業であり、地域の中で主イエス・キリストの福音を具現化する場です。しかし教会に委ねられている伝道の業は、幼稚園がすべてではないことも確かです。もちろん幼稚園の存在やその歴史を考えると、色々々の中におられる主イエスの声を聴くことだと思います。

特に古くからの歴史や習俗に根差した人々と、新たな文化・人々が共に生きている周船寺にある教会にとっては、これからも地域の声を「聴く」ことによって、伝道の方向性が自ずと示されると信じています。

初めて、東日本震災で被災された方々、それに続く福島第一原子力発電所の事故によって今なお不安の中に置かれた方々に主の慰めをお祈りいたします。

私は 2011 年 4 月から福岡市の西端にある周船寺教会で奉仕させていただいています。周船寺は糸島半島の内陸部に位置する、南は脊振山地、北は玄界灘に挟まれた自然豊かな地域です。この地域は『魏志倭人伝』に出てくる「伊都国」（怡土）であると考えられています。

周船寺教会の伝道の業とは何かを考える中で、二つの幼稚園との関わり方について、現在私は宗教主事という立場で、一人の牧師として両園に関わらせていただいています。

周船寺教会の伝道の業とは何かを考える中で、二つの幼稚園との関わり方について、現在私は宗教主事という立場で、一人の牧師として両園に関わらせていただいています。



飯島 信さん

救援対策担当幹事に就任



1948 年東京都生まれ。ICU 大学院・日本聖書神学校卒。豊島岡教会担任教師。

昨夏、仙台・石巻エモオに台湾から 100 人のボランティアがやって来た。4 チームに分かれて奉仕したが、大工さんが加わっていたことから、引っ張りだこになった。このボランティアは、台湾で大きな関心を集め、1,000 人もの応募者があったという。東日本震災・海外募金の 3 割強が台湾からであることとあいまって、台湾諸教会の熱い支援の気持ちがよく伝わっている。

本年 3 月の大震災 2 周年をメリアル・デーには、石橋秀雄・教団総会議長を招いて、記念集会が台湾で開催される。

昨年 9 月、救援対策幹事に就任した飯島さんは、都内の公立中学で 31 年間教鞭を執っていた。

飯島さんは、按手を受けた翌年、09 年から 1 年間、NCC 総幹事を務めていた。

被災教区では、会堂の復興・再建も始まった。だが、過去の災害に比べて余りにも規模も被害も甚大だっただけに、「教会、付属幼稚園の建物が復興しても、人が元通り戻るのか」を多くの人が懸念している。

担当幹事就任以来、飯島さんは被災地を駆け巡っているが、「仮設住宅は、時と共に忘れられ、取り壊される。仮設を出たくても出られない人たちが何処かに集められる。そうした人たちに教団がどう寄り添えるのか」と飯島さんは問う。

国内募金に比べ、海外募金は停滞気味だが、「海外献金は、これを機会に海外の諸教会とどういう関係を築いて行けるか考える重要なチャンス。私たちも関心を薄らすことなく募金を続けて行けるのかを神様から問われている」と飯島幹事は語っている。

第 38 回教団総会で総幹事に指名された翌週月曜日から、正式な就任式等ないまま、東京山手教会牧師として本年 3 月末までを続けることで西早稲田に通い始めた。

その日、朝 9 時より「信徒の友・週日聖書日課」による「祈りの教会」を覚えて献げる礼拝から始まった。この直後、事務局全職員が打合せを総幹事室で行い、各自その週の仕事と予定を確認し合った。会社勤めや幼稚園等携わったことのない自分にはそれが実に新鮮であった。教団幹事との「幹事会」が、その後開かれているとのこと。慣例でそれも総幹事室で行われる。

われていた。だが、教団運営上これは極めて重要な会議であり、ソファーと応接用の低いテーブルでやることではないとの判断から、会議室に移して行うことを提案し、了承された。これは、月一度

おり、幹事や職員と相談して整理し、早々に出来るだけ広く清楚な部屋として整え、内外の客人何時でもどなたも自由に来室を待つ願わかれ、多くの職員の協力を得てそれを実行した。

現在、教団は「3・11 東日本大震災救援」に総力を挙げている。この間、総幹事就任とは別に「対策室室長」の役目も果たして来た。災害に対する教団の対応は、1995 年 1 月の兵庫県南部大地震以来本格化しているが、諸教会の深甚の祈りと募金がこれを支えている。

（教団総幹事 長崎哲夫）

総幹事に就任して

日本キリスト教団出版局
新刊・イベント案内

10 代と歩む
洗礼・堅信への道

《志願者用ワークシート CD-ROM 付》
朴憲郁／平野克己 監修
大澤秀夫／箕仲子／田中かおる／古谷正仁
洗礼・堅信準備のためのガイドブック。
だれでも実践できるプログラムが充実。
●B5 判・144 頁・2100 円

旧約聖書と説教

越川弘英／平野克己／大島力／並木浩一
「旧約聖書の説教はこんなに面白い」と
思わせる豊富なヒントと説教実例を収録。
●A5 判・128 頁・1260 円

新島八重
ものがたり

山下智子 著
大河ドラマ『八重の桜』主人公の
生涯と信仰を描いた本格的評伝
自分を貫いてキリスト者として生きた新島八重の生涯と信仰を、史的裏付けを得ながら明らかにする。 ●四六判・146 頁・1575 円

子どもさんびか改訂版 刊行 10 周年
記念感謝礼拝

教会の 1 年―神さまに祝福されて

●日 時 2013 年 4 月 13 日（土）
●会 場 早稲田奉仕園スコットホール
●チャプレン 飯塚拓也／古賀 博
真壁 蔵／吉岡光人
●奏 楽 飯 靖子
●持ち物 【子どもさんびか改訂版】
★参加申込不要、どなたでも参加できます。
★来場者全員に、オリジナルグッズをプレゼント。
★点字プログラム、手話通訳があります。